

備北ナカポツ だより

BIHOKU NAKAPOTSU NEWS
No. 40

令和5年
11月1日発行

●発行所／三次市十日市東三丁目14-1三次市福祉保健センター1F TEL.(0824)63-1896 FAX.(0824)63-1897
一般社団法人備北地域生活支援協会 備北障害者就業・生活支援センター
http://care-net.biz/34/bihoku-c/ E-mail/info@bihokucenter.com

[ナカポツ]は障害者就業・生活支援センターの通称名です。

職場拝見



今回は、庄原市内で長期療養型の病院と介護施設を運営する医療法人ながえ会を訪問し、事務長の西村さんと坂元さんにお話を伺いました。



西村事務長(左)と坂元さん

医療法人ながえ会について
教えてください。

昭和62年に元庄原北中学校の跡地に病院を開設。当時は介護保険もなく、在宅での看護・介護が難しい高齢者の受け皿として県北で初めての療養型の病院としてスタートし、翌年の昭和63年に法人化しました。

ながえ会が運営する
施設について教えてください。

庄原同仁病院(60床)と庄原同仁病

院介護医療院(40床)があります。病院は医療の必要性の高い方、介護医療院は介護度が高く長期の療養が必要な方を対象とした療養型施設です。

ながえ会での障害者雇用の状況
について教えてください。

現在、1名の障害者を雇用しています。環境管理課に所属して屋内外の清掃作業に従事してもらっています。

障害者を雇用するきっかけを
教えてください。

ハローワークと庄原特別支援学校からお話があり、学校を見学したことがきっかけです。現在、働いている井上さんは高校2年生の冬と3年生の春と秋の3回にわたり、この病院で実習をしてもらいました。

実習をもらう中で、仕事ができるかと判断して採用しました。

配慮されていることがあれば
教えてください。

できることをやってみようようにしています。井上さんの特性を理解して、本人のこだわりに対する配慮や仕事で混乱しないよう丁寧に教えています。また、できていることは褒めることを心がけています。

井上さんの働きぶりは
どうですか？

採用当初は、感情のコントロールが上手くできないこともありましたが、本人の努力と周囲のあたたかい指導により改善することができました。

また、学生時代の実習時は体力不足が目立ち、発熱や体調不良で休むことが多くありましたが、就職してから片道5kmの自転車通勤を始め、体力をつけることで、入職以来、無遅刻無欠勤が続いています。

今後の障害者雇用の計画等が
あれば教えてください。

障害特性に合わせた仕事の切り出しができれば採用したいと考えています。但し、地理的に交通手段が限られているので、近くの人か自動車で通勤できる必要があります。



正面玄関

(前頁より)

ナカポツに対する要望があれば教えてください。

ナカポツが主催される研修会や交流会は、障害者を雇用されている他の企業のお話も聞けてとても参考になります。これからもそうした機会にはできるだけ参加したいと考えています。

ありがとうございました。

私たち 羽ばたいています!



井上 智春さん

庄原同仁病院に就職したきっかけを教えてください。

庄原特別支援学校の2年生の時から3回、この病院で実習したことがきっかけです。高校時代には病院とは別にホームセンターで品出しの実習もしましたが、自分にはこの病院での仕事に向いていると思います。

仕事の内容を教えてください。

主として清掃の仕事をしています。屋外では掃き掃除や落ち葉の処理、除雪なども行います。屋内では病院内のすべての廊下の掃き掃除を行っています。

就職して8年になりますが、長く続けていくコツがありますか？

職員や患者さんと話をするのが楽しいです。最初はこだわりや感情のコントロールがうまくできないこともありましたが、今は、ネガティブな声を気にしないようにしています。

職場の先輩方には、時には厳しく、時には母親のように優しく接していただき、安心して働くことができています。

部署内でのミーティングや朝礼で、自分の意見が言えることが自信につながっています。

休みの日の過ごし方を教えてください。

最近ではスマホのゲームアプリの「馬娘プリティーダービー」に夢中になっています。その影響でJRAの競馬中継をTV観戦することが多くなりました。

今後の目標があれば教えてください。

任せてもらえる仕事を増やしたいと思っています。また、新型コロナウイルスの影響で職場での交流の場が少なくなり、寂しく思っています。コロナが落ち着いたら、また以前のような賑やかさが戻ってきてほしいと思います。家庭では祖父母も高齢となり、家族を支えられる存在になりたいと思っています。

ありがとうございました。

事業所紹介

三次市にある地域活動支援センター「ジョイジョイワーク第3作業所」で副理事長をされている柏井さんからお話を聞きました。



副理事長の柏井さん

作業所設立の経緯を教えてください。

おとし亡くなられた倉本篤子さんが約35年前に始められました。倉本さんには一人の子どもさんがおられました。息子さんには重い障害があり、ほとんど外出できない状態でした。

庄原養護学校（現庄原特別支援学校）の高等部を卒業された後、息子さんが家から出て活動できる場所を色々と探されましたが、当時、重度の障害者を受け入れてもらえる場所がありませんでした。そこで自分の経営していたお店を改修して作業所

を始められました。

同じ境遇にある障害者の家族の協力もあり、設立当初は10名ほどの利用者があったそうです。

最初は個人での運営でしたが、周りの助言や市からの助成もあり、設立して10年後にNPO法人による運営となりました。



作業所全景

作業所の仕事の内容を教えてください。

古新聞やチラシ、空き缶などの資源リサイクルが主な作業となっています。

作業所の特徴を教えてください。

通所者には作業のノルマはありません。作業することや休憩することも本人の意思に任せています。休むことも自由です。作業所で過ごすことを楽しみにしてもらうことをモットーとしています。



作業風景

開設してよかったことを教えてください。

開設のきっかけは「とにかく家から出よう」でした。重度の障害があっても社会参加ができる場ができたことは大変良かったと思います。

知的障害や精神障害のある人たちの集いの場としての役割も、この作

業所が担っていることをうれしく思っています。

作業所を運営するうえで困ったことがあれば教えてください。

利用者の確保が課題となっています。定員は15名ですが、今は11名の登録者で、1日の利用者は5〜6名です。開所時間も以前は9時から15時でしたが、コロナの影響で9時から11時30分に短縮しました。以前の時間帯に戻そうとしても、みんなが今の時間に慣れてしまい、元に戻すことが難しい状況にあります。

これからの目標があれば教えてください。

作業所を続けることが第一です。通所者が「ジョイジョイがおもしろい」と思ってもらえる環境を継続したいと思っています。

ありがとうございました。

▼取材を終えて…

作業所の空気がゆっくり流れている雰囲気でした。「みんな違ってみんないい…」そんな言葉がぴったりの作業所だと思いました。

ホースセラピーで交流

10月14日(土)に庄原ホースヒルでホースセラピーを開催しました。

当日は、セラピストの田口貴子さんから「心癒されるホースセラピー」と題してお話をいただいた後、荒木篤実さんの指導で馬への餌やりやブラッシング、馬房の清掃などを体験しました。また午後からは希望者に乗馬体験を行いました。

昼食にはみんなで協力して芋煮を体験!!



締めのカレーうどんでお腹もいっぱいになりました。

参加者からは「人参を見る馬の眼がとてかわかった」「みんなと一緒に屋外で調理して食事ができてよかった」など、心癒されるひとときを送ることができました。

企業担当者研修会を開催しました



8月4日に三次まちづくりセンターで障害者雇用の担当者を対象とした研修会を開催しました。

当日は三次市にある一般社団法人結の代表理事水越ひろ子さんを講師に迎え、「ダイバーシティを求められる現在 あなたの会社はどうしますか?」と題して、講演とグループワークを行いました。

参加者からは「ダイバーシティについて理解が深まった」「色々な価値観を認め合うことの大切さを改めて感じた」などの感想をいただきました。

お知らせ

障害者雇用企業等担当者交流会を開催します

- と き／令和5年11月24日(金)午後1時30分～午後3時30分
- ところ／三次市福祉保健センター 4階 ふれあいホール
- テーマ／「障害者の受け入れ及び雇用管理のポイントについて

～精神障害者、発達障害者の事例を通して～

11月17日(金)までに備北ナカポツまでお申し込みください。
右のQRコードからも申し込みいただけます。



障害者差別解消法をご存じですか？

障害のある人もない人も、ともに住みやすい社会の実現を目指して、平成25年6月に制定された法律です。

これまで事業者に対して「不当な差別の取扱い」が禁止されていましたが、令和6年4月からは「障害のある人への合理的配慮の提供」が義務化されます。

ともに生きる「共生社会」の実現に向けて、事業者の皆さまのご協力をお願いします。

右のQRコードからアクセスするとリーフレットをご覧ください。



最低賃金改定のお知らせ

令和5年10月1日から
広島県の最低賃金が

970円

に改定されました。
(これまでは930円)

センター活動実績

(令和5年10月23日現在)

- 就職者数 **483**件(H22年4月から累計)
- 企業実習 **341**件(H22年4月から累計)

業種

食品製造業、自動車部品製造業、
卸売・小売業、飲食業、サービス業、
医療・福祉、農業、公務

編集後記

平成22年7月1日に第1号を発行して、今回が第40号となりました。

設立当初は22名の登録者からスタートし、現在まで述べ592名の皆さんが備北ナカポツを利用されてきました。

設立当初は庄原市宮内町に事務所があり、その後三次市生涯学習センターに移転し、平成27年4月に現在の三次市福祉保健センターの1階で業務を始めました。

「ナカポツはどこにありますか?」と尋ねられると「三次市の図書館の隣です。」と答えると何となくわかってもらえるようです。

これからも障害のある方の就職と職場定着に向けて頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願います。